

特別集会 核と基地のない日本、沖縄との連帯を

8月8日(火)13:00~16:00

核も基地もない沖縄の実現は、原水爆禁止運動と切っても切り離せません。沖縄は、米軍統治時代にアメリカの核兵器が配備され、復帰後も密約で核持ち込みを押しつけられてきました。沖縄・辺野古への新基地建設ストップは、核も基地もない沖縄実現の扉を開き、非核平和の日本実現にも貢献します。「オール沖縄」の先頭に立つ国会議員や県議会議員とともに、全国でいかに沖縄に連帯する運動を広げるか、議論します。「オール沖縄」の国会議員に発言要請中。

海外代表

ことしの世界大会には、核保有国の草の根の運動、世界の核被害者、国連で開かれる核兵器禁止条約交渉会議をリードした国の政府代表など多彩な海外代表が参加します。「核兵器のない世界」の実現へ共同する世界の人びとと議論、交流しましょう。



ジャッキー・カバンさん
(アメリカ・西部諸州法律基金事務局長)



スー・ヘイゼルダインさん
(オーストラリア核実験被害者)



リサ・クラークさん
(国際平和ビューロー(IPB)共同会長)

2017年世界大会、6月国連へ学習を広げよう

学習パンフレット



今年の大会パンフは、一言でいうと「ヒバクシャ国際署名読本」です。6月の国連会議に向けた署名推進のための学習に活用しましょう。

今回の大会パンフでは、3月に開かれた核兵器禁止国連会議で明らかになった画期的な情勢を反映しました。

国連会議で感動を呼んだ日本被団協事務局次長の藤森俊希さんや、カナダ在住被爆者のセツコ・サーローさんの発言、核兵器禁止条約実現に向けたうごきなどが学べる唯一の学習資料です。

B5版36ページ オールカラー 頒価310円



大会記念バッジ
(頒価310円)

(いずれも日本原水協発行)

関連行事

核兵器なくそう!青年交流集会 Ring!Link!Zero2017 in Nagasaki

- 8月7日(月)18:30~20:00(開場18:15)
- 長崎市民会館体育館

原水爆禁止2017年世界大会・科学者集会in高知

- 7月30日(日)10:30~17:00
- 高新文化ホール

核兵器なくそう女性のつどい2017inナガサキ

- 8月8日(火)18:00~20:00(開場17:15)
- 長崎市民会館体育館

いのちをえらびとる断食のいのり

- 8月5日(土)10:00~16:00
- 広島平和記念公園

核兵器のない平和で公正な世界を願う人なら、どなたでも参加できます。

参加の仕方、費用などについて詳しくは、各県実行委員会(原水協)または、下記までお問い合わせください。

原水爆禁止世界大会実行委員会 〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階

Tel.03-5842-6035 Fax.03-5842-6033 <http://www.antiatom.org/>

原水爆禁止2017年世界大会

2017 World Conference against A&H Bombs

核兵器の禁止を



8月3~9日、広島と長崎の両被爆地でわたしたちは、原水爆禁止世界大会を開きます。ことし3月、核兵器禁止条約を交渉する会議が国連で開かれ、7月7日には条約が採択される予定です。

条約実現の最大の力は、被爆者がよびかけた「ヒバクシャ国際署名」をはじめとする核兵器禁止をもとめる草の根の声と行動です。ことしの世界大会は、こうしたとりくみの経験と教訓をみつめ、新しいステップを切りひらくため議論し交流します。

今年の世界大会は、禁止条約ができたもとでむかえる特別な大会です。禁止条約実現に努力してきた、被爆者、日本や世界の反核平和運動の代表、政府・国際機関、自治体の代表が集い、共同を深める場となります。

核兵器禁止・廃絶の実現は、人類を核兵器による絶滅の危機から救うだけでなく、より良い暮らしや生活をすべての人にもたらし、平和で公正な世界への扉でもあります。

「核兵器のない世界」の実現をねがう人は、全国の草の根から広島、長崎へ集まりましょう。

核兵器禁止条約・核兵器のない 平和で公正な世界のために 歴史の新たな一歩をふみだそう

国際会議 8月3日(木)～5日(土) 会場：広島市文化交流会館

国際会議は、国内外の反核平和運動のリーダーや、核兵器禁止実現に尽力する政府代表が一堂に会し、「核兵器のない世界」の実現へ熱い議論がおこなわれます。採択される「国際会議宣言」は、全世界に対して「核兵器のない世界」実現に向けた行動をよびかけます。今年の大会では、7月に国連会議で核兵器禁止条約が採択され、核兵器廃絶を実現するために何が求められるかについての議論が注目されます。核兵器をめぐる最先端の議論と運動が深くつかめます。若い世代の参加を期待します。



世界大会—広島 8月5日(土)～6日(日)

市民と海外代表の交流集会
8月5日(土) 18:30～20:30
●広島市文化交流会館・銀河

5日の交流集会では、海外から参加した青年を中心に、「核兵器のない平和で公正な世界」に向けて何をすべきか議論し交流します。

6日のヒロシマデー集会は、核兵器禁止条約採択から廃絶の実現へ、被爆者による訴えや文化企画など、「ヒロシマの思い」を世界に発信します。

ヒロシマデー集会
8月6日(日) 13:00～15:30(開場12:00)
●広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

被爆72年ヒロシマデー とうろう流し
6日19:30～20:30基町河川公園

世界大会—長崎 8月7日(月)～9日(水)

開会総会
8月7日(月) 15:30～18:00(開場14:30)
会場：長崎市民会館体育館／文化ホール
「国際会議」の報告や、長崎市長や国連代表のあいさつ・発言など、2017年世界大会の特徴がつかめます。5月から全国でおこなわれた原水爆禁止国民平和行進の通し行進者・国際青年リレー行進者がつどいます。



8月8日分科会は、右一覽を参照

閉会総会
8月9日(水) 10:30～13:00(会場9:30)
会場：長崎市民会館体育館／文化ホール
2017年世界大会のフィナーレを飾る集会です。長崎の被爆者の訴えや、全国や世界の草の根のとりくみが交流されます。未来を担う若者が中心のステージも計画中です。



●広島市平和記念式典
(8月6日8:00～8:45) 広島市主催 広島平和公園

●長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
(8月9日10:35～11:43) 長崎市主催 長崎平和公園

長崎 8/8 9:30～15:00

魅力的な いばいの

フォーラム
分科会
うごく分科会



分科会
6 核兵器と原発

東京電力福島第1原発事故から6年が経過するも一向に収束のめどが立たない中、原発の再稼働が相次いでいます。膨大な量の使用済み核燃料や核兵器の原料となるプルトニウムをどうするのかについても解決が迫られています。原子力エネルギー依存からの脱却をめざすとりくみを海外代表とともに交流します。

分科会
7 軍事費とくらし・平和

安倍政権は、北朝鮮の「脅威」など、安全保障環境の悪化を理由に防衛費の増大をすすめています。他方で、教育費無償化のためには改憲が必要と述べ、保育充実や長時間労働の規制といった人びとのくらしをまもることに背を向けています。核兵器禁止をはじめとする平和の実現が、軍事費削減とくらし向上にいかなる展望を開くか、学びと交流を深めます。

分科会
8 反核平和の文化

戦争の文化が共謀罪などさまざまな姿で私たちの生活の中に入り込もうとしています。いま、あらためて、反核平和の文化と被爆者のたたかひに学び、大いに意見交流しましょう。

分科会
9 青年のひろば—被爆者訪問、学習と交流

「核兵器をなぜなくすべきか」その原点を学ぶ青年による青年のための分科会です。被爆者の方から直接、対話形式(少人数)や証言集の読み合せなどを通して、被爆者のメッセージを一人ひとりが受け取ります。グループトークで自分なりの受け止めや日頃のとりくみを交流し、核兵器をなくす展望を語り合います。核兵器禁止条約が採択される年に、いっそう重要となる被爆の実相を広め、次世代に継承することをめざします。

分科会
10 映像のひろば

福島原発事故で被災したある農家の一家(父親は広島の被爆者)に焦点を当て、核兵器と原発の両方について考える「佐市の息子」、ロシアが投資する原発建設計画に反対するフィンランドの人たちを追う「ハンキヴィ・ワン」、1954年アメリカのビキニ水爆実験が日本社会にもたらした影響を記録した「永遠なる平和を—原水爆の惨禍—」を鑑賞し、交流します。

動く分科会

11 佐世保基地調査行動

12 ナガサキの被爆遺構・碑めぐり

13 少年少女平和のつどい

フォーラム

核兵器禁止条約の実現—政府とNGOの対話

7月7日に国連会議で核兵器禁止条約が採択されれば、「核兵器のない世界」に向けた新たな一歩がふみだされます。会議で条約づくりの先頭に立った国々の政府代表と反核平和運動の代表が、「核兵器のない世界」の実現に何が求められるか議論します。

分科会

1 核兵器禁止条約の実現—「ヒバクシャ国際署名」など草の根の運動の交流

7月7日に国連会議で核兵器禁止条約が採択されれば、「核兵器のない世界」に向けた新たな一歩がふみだされます。禁止から廃絶へ、草の根運動の役割がいっそう重要です。「ヒバクシャ国際署名」を軸に、草の根運動をどのようにとりくんでいくのかを焦点に討議・交流をおこないます。

分科会

2 非核平和のアジアと日本の役割

北朝鮮核問題の平和的解決が大きな課題となっています。アジアと世界の平和と安全のためにも核兵器禁止をどう実現するかについて、アジアの海外代表とともに意見を交わします。

分科会

3 非核平和の自治体づくり

核兵器禁止条約採択の画期的意義を学び、非核平和の自治体づくりにどう生かすのか、自治体関係者を交えて討論・交流します。また、日本政府に核兵器禁止条約の調印を迫る国民的な世論を築くため、「ヒバクシャ国際署名」の自治体ぐるみ運動の前進をめざします。

分科会

4 戦争法を廃止し、憲法生きる日本を

米軍主導の戦争に日本が参加できる国にしてしまう安保法制=戦争法はますます廃止の声が全国に広がっています。憲法施行70周年の今年、二度と戦争への道は歩まないと誓った憲法9条に基づく政治を取り戻すための共同について交流します。

分科会

5 被爆体験の継承・実相普及と援護連帯

広島・長崎の被爆者による実相普及を焦点に、2017年の被爆者援護・連帯活動の在り方を学び、交流する分科会。被爆の実相に光をあて、交流することを重視します。「ヒバクシャ国際署名」が各地で被爆者とともに推進される中で、平和運動と被爆者の会と被爆者との日常的なつながりを強めること、支援のネットワークづくりがいっそう重要となっています。

※フォーラム・動く分科会は追加料金がかかります。 ※一部の分科会では開始・終了時間が異なります。